

## 臨床社会心理学的研究(縦断的分析)

長 尾 勲

(1999年11月30日受理)

### はしがき

心理学を専攻して50年の馬齢を重ね、「人間」が対象の研究故に横断的研究に留まらざる得ない事も多かつたが、今回1960年来の臨床社会心理学的研究の中、下記の分野を縦断的に分析を試みた。

複雑・機微な人間像を現下の激しい変動でより分かり易く理解するために、かねて力動的な縦断的な事例の分析が欲しいと思い今日にいたつたが、その一端を「4」で3事例を考察する。

「1」 「自動車事故と白晝夢 (day-dream)」 1968—1995。(27年経過)

「2」 1965—1998 (38年間) 研究した「TWENTY STATEMENT TEST」を10答法に変更して発達の様相と「先生・両親・友人・等の心のふれ合いの消長」にふれた。校内暴力：先生の影が薄くなった。1960—1998 (38年経過)

「3」 アルコール依存症事例が「回心的回復」した。1965—1998 (33年経過)

「4」 社会文化的諸事例・

(イ) 30年間経過した価値観の変動 1965—1995 (30年経過)

(ロ) 明治時代の日露戦争(日本海海戦)を平成時代の児童・青年はどう意味づけるか等、諸特性傾向を明確化する。1890—1994 (104年前)

(ハ) 交通加害者(過失致死)の罪悪感 (31年経過)

### 「1」 自動車事故と白晝夢 (day-dream) (1968—1995)

—27年間経過—

自動車事故に、白晝夢との関連がみられるのではないかと仮説し、白晝夢量を調べた。調査方法は、近藤敏行教授作成による白晝夢質問紙119項目(付表I)の中から、今回はこの27年間(1968—1995)若者が車に関する白晝夢の消長傾向について分析する。

白晝夢を定義してみると、白晝夢はめざめた時の意識的な空想で、子供や青年に多

い。幼児期において空想は遊びと関連し、願望の充足、不満の解消などに大きな意義を持つ。なお、防衛機制の1つに空想への逃避がある。

現在起こっている肉体的・精神的課題、または外的刺激から、注意がそれて、内から起こってくる何らかの刺激に対する内面的な反応が展開すること。すなわち「心の眼に映る絵」のことである。

その内容はとりとめもない一過性のものから。詳細な筋書きを持った小説のようなものにいたるまで、無数の中間段階がある。近藤は、大学生の報告に基づいて、白昼夢のテーマを次のように分類する。①華美絢爛型（豪華な物質生活）②恋愛と性③結婚と家庭生活（シンデレラ型を含む）④技量誇示形（出世物語を含む）⑤攻撃型（暴力型）⑥支配者⑦慰安型（レジャーを楽しむ）⑧同一化型⑨受難型（殉難者、被害者）⑩罪劫型⑪不安型（危難に遭う）⑫追憶型⑬未来の計画型（建設的計画、希望）。

白昼夢の心理力動についてフロイトは白昼夢は願望充足であるといった。確かにその面は否定することはできない。しかしすべての白昼夢をそれで説明することは困難である。シンガーは認知技能説をとっている。少なくとも一部の白昼夢は、認知技能説によって、より適切に説明できる。白昼夢は一部の人が考えるようにすべてが病的な傾向を示すものではなく、普通一般の心的活動の一断面を示すものである。近藤は白昼夢の心理機制として、①不安で悩む白昼夢②幻覚的白昼夢③非現実的、自閉的白昼夢④散乱的、幻想的白昼夢⑤みずからを楽しませる白昼夢⑥警戒的、探求的白昼夢などである。

自動車事故と空想との間に因果関係があることは、これまでも指摘されてきた。丸山康則氏は、事故発生時の運転者の心理状態について、「42%が考えごとをしていた」（1982）としている。

自動車運転事故発生時の心的状態および 丸山康則  
運転態度

	%	件数
急ぐ気持でいつぱい	54.2	115
考えごとをしていた	23.1	49
ぼんやりしていた	18.9	40
わき見よそ見	17.1	36
無神経で運転してた	16.1	34
何となく疲れていた	15.6	33
なれないため慌てた	12.7	27
きにくわずいらいら	1.9	4
眠気がさしていた	1.4	3
だるくておこう	0.9	2
たいくつでしかたなかった	0.5	1

さらに、カナダのティルマン氏らは、「幼少から白昼夢などの不安定症状を出したものに、事故発生者が多くみられる」と、自己と白昼夢との関連についても言及している。

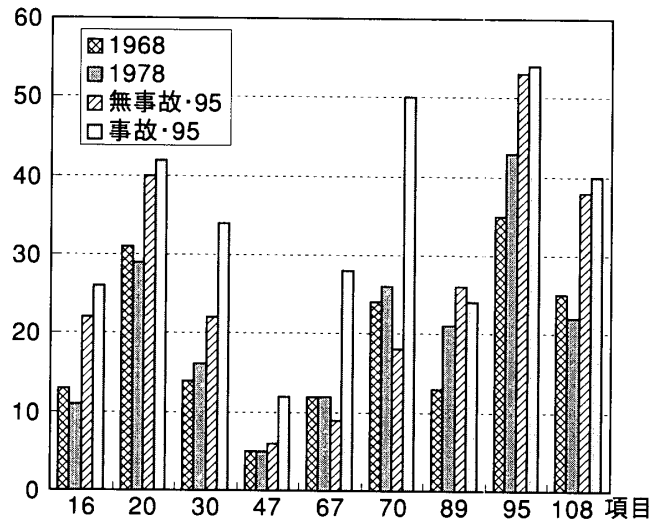


図1 DAY DREAM 車関連消長

1968年・1978年・と1995年次車関連・Daydream：（N=100）項目119中・車関連項目を抽出した。119項目（付表I）

表1 車関連項目（9項目）

16. 自動車（汽車）にはねられる。	3-2-1.
20. 自分の親愛な人（兄弟・親・友人・恋人など）が自動車（バイク）などにはねられ大怪我をする。	3-2-1.
30. 自動車が衝突して大怪我（又は死ぬ）する。	3-2-1.
47. ドライブ（登山，海水浴）で，恋人が目の前で不慮の死を遂げる。	3-2-1.
67. 故障してこまっている自動車を修理して感謝される。	3-2-1.
70. 新しいスポーツカーやバイクにのって友人をうらやましがらせる。	3-2-1.
89. 溺れる人（火中の人・交通事故の人等）を助けようとして自分が死ぬ。	3-2-1.
95. 自分の車（スポーツカーなど）をもつて乗り回す。	3-2-1.
108. ハイウェイをスポーツカーでドライブしている。	3-2-1.

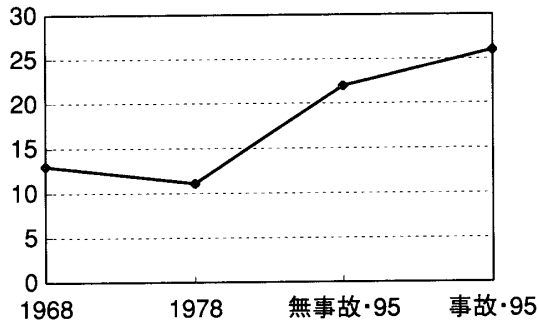


図2 16. 自動車（汽車）にはねられる。

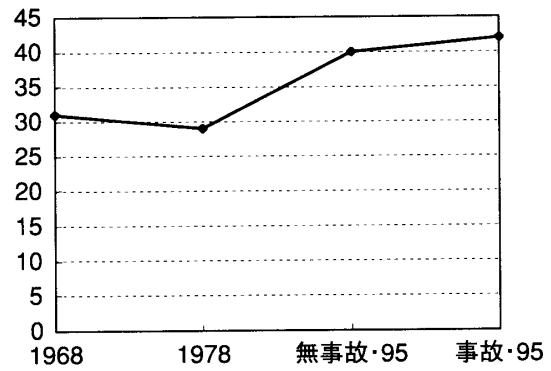


図3 20. 自分の親愛な人（兄弟・親・友人・恋人など）が自動車（バイク）などにはねられ大怪我をする。

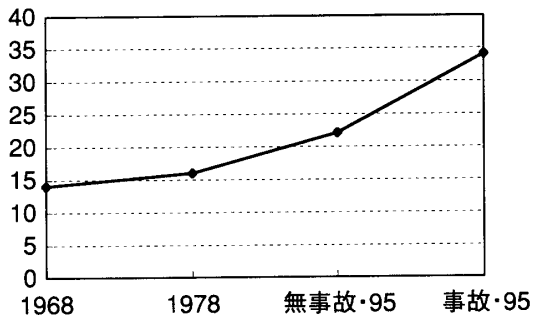


図4 30. 自動車が衝突して大怪我（又は死ぬ）する。

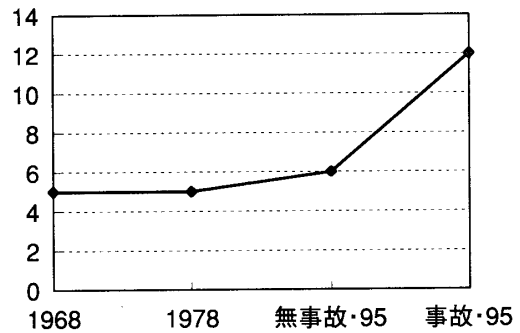


図5 47. ドライブ（登山，海水浴）で，恋人が目の前で不慮の死を遂げる。

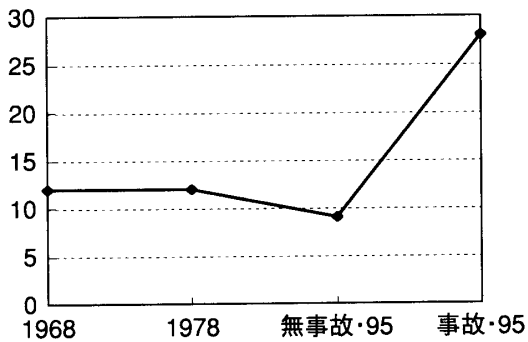


図6 67. 故障してこまっている自動車を修理して感謝される。

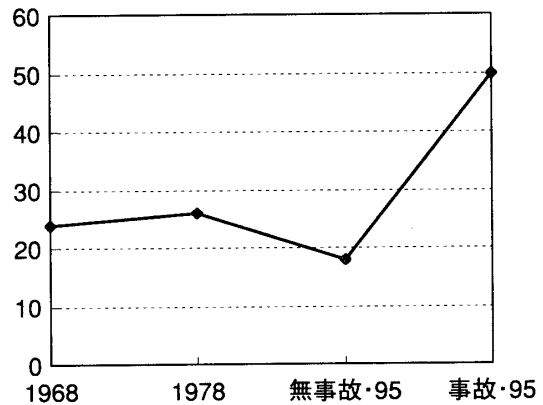


図7 70. 新しいスポーツカーやバイクにのって友人をうらやましがる。

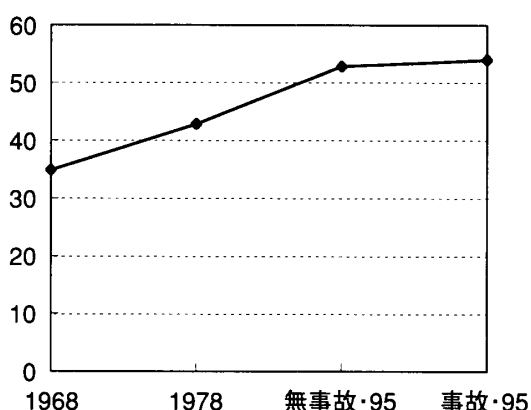


図8 95. 自分の車（スポーツカーなど）をもって乗り回す。

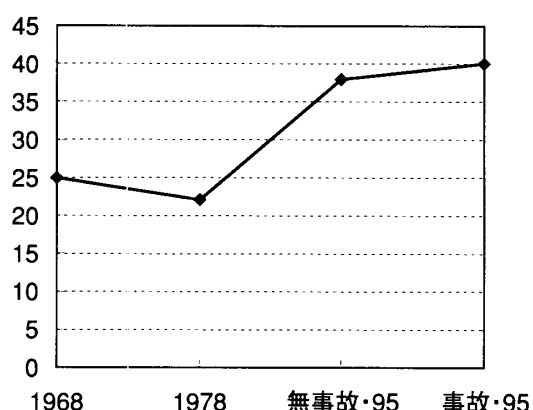


図9 103. ハイウェイをスポーツカーでドライブしている。

説明 1968年時代より1995年次になると項目中車の白晝夢が増加した項目は下記の通りであった。

- |  |        |
|--|--------|
| 16. 自動車（汽車）にはねられる。                               | 3-2-1. |
| 20. 自分の親愛な人（兄弟・親・友人・恋人など）が自動車（バイク）などにはねられ大怪我をする。 | 3-2-1. |
| 30. 自動車が衝突して大怪我（又は死ぬ）する。                         | 3-2-1. |
| 70. 新しいスポーツカーやバイクにのって友人をうらやましがらせる。               |        |
| 95. 自分の車（スポーツカーなど）をもって乗り回す。                      | 3-2-1. |
| 108. ハイウェイをスポーツカーでドライブしている。                      | 3-2-1. |

また1995年の事故者群は無事故者群より下記の項目が5%の有意差がみられ、「DAYDREAM 量の多いのは感情激化の変化が多い、顕示性的偏倚（ヒステリー性格）がみられる。この顕示性的偏倚傾向は「事故につながる仮説がより明確化可能」と思われる。

- |                                    |        |
|------------------------------------|--------|
| 30. 自動車が衝突して大怪我（又は死ぬ）する。           | 3-2-1. |
| 47. ドライブ（登山、海水浴）で、恋人が目の前で不慮の死を遂げる。 | 3-2-1. |
| 67. 故障してこまっている自動車を修理して感謝される。       | 3-2-1. |
| 70. 新しいスポーツカーやバイクにのって友人をうらやましがらせる。 | 3      |

最後に、「自分の未来」については、事故者群の方が白昼夢量が少なくなっている。この点については、事故者群は、刹那的であり自分の未来を描きづらいのに対し、無事故者群は、未来についても長期的な展望を描きやすいのではないかと考えているが、未実証段階であり、一示唆に留める。

「2」1965—1998（33年間）研究した「TWENTY STATEMENTS TESTを10答法に変更」して(1)発達の様相と(2)「先生・両親・友人・等の心のふれ合いの消長」1965—1998（33年経過）

先ず Manford H, Khun, Thomas S らの「T S T」の特性論に加えて、筆者の派生的解釈をしたい。

「TST」とは、「私は誰だろうか（Who Am I）」という問いに対して、被験者が思いつくままに、順次に短い文章を20回自由に記述させる方法である。

この方法は、Manford H, Khun, Thomas S, Macpartland (State University of Iowa and University of South Dakota 1954) ら一連の創始によったものであり、所謂“Twenty Statements”Test（略称 TST）と呼ばれているものである。このテストは、自分を社会的に規定された、カテゴリーで分類する傾向があることに着眼している。

被験者が、自分なりに、思いのままに、思いつくままに、自由に文章表現ができ、しかもその結果を数量的に処理出来るような分類法を考察しているのに特徴がある。

筆者はこのテストはパーソナリティを社会構造との関連においてとらえ、しかも個人の行動を現象的に把握しようとする可能性をもはらんでいると考えている。

Consensual response と Sub-Consensual あるいは Non-Consensual responses に二大別可能であり、Consensual 反応とは、広い意味の社会的集団や社会的役割に結びつき、しかもその帰属が、客観的に証明できるような内容、例えば学生、少女、夫、娘、シカゴ住、技術、訓練生等である。

Non-Consensual (Sub-Consensual) とは、一つの回答の内容が、個人によって、よりよく知られている自己の能力、性格などについての叙述や評価や、外的事物に対する興味、主観的な価値判断などに属するものの総称であり、あわれな学生、よい少女、忙しい、面白いスポーツなどである。

更に Locus Score は、Consensual な記述から Non-Consensual な記述へ転換する点を求め、その Score は個人の集団準拠性ないし社会的繁留の程度を最もあらわすとしている。

Kuhn, et al (1954) らの研究では、言い換えると、Consensual 反応（社会繁留の反応）は、自己構造のより本質的なものであり、TST への反応の際に何が出現するかは、とりもなおさずその人間がある事態に反応する際にまず何に準拠しているかを反映しているのだとしている。そこで TST 反応で、自己を社会的役割に準拠させる反応がまず出現するならば、それは彼が日頃の行動の際に、まずもつばら社会的役割に準

拠して行動するというパターンをもっているあらわれであると述べている。  
 筆者は発達の位相と先生・家族人・友人等のコミュニケーションの変化測定に10答法を適用した。Consensual 反応と Non-Consensual (Sub-Consensual) の解釈を拡げて Consensual 反応をロジャースの自己客観視に Non-Consensual (Sub-Consensual) を主観的感情支配に近接した意味に考えることが、発達の様相と社会変動下の態度認知がより明確化すると想定した。

**発達の様相（70歳老年群のテスト実施は我が国では創始である。）**

発達の視野で小学生群，中学2年群，中学3年群，大学4回生群，国家公務員中堅幹部研修生群，70歳群を7群を対象にして，10答法反応をさせた中から，Kuhnらの Locus Score, Consensual 反応, Non-Consensual Responses 関係を検討した。表2・3・4。図10・11・12。に適用した対象群の無作為事例を付表にした。

各群の Locus Score は，中学3年生群がもつとも高く，次に中学2年生群が高く，反面小学生群，大学生群，公務員群，老年群が低い。特に，中学3年生および，中学2年生群と小学生・老年群の有意差が5%レベルの危険率で認められ，小学生・老年群が如何に主観的感情が支配的であることが分かる。中学生時代が大学生より社会的係留・，客観的認知・緊張さが高く，受験にかさなつた思春期の両親依存と自己独立との葛藤さが察知される。一方大学生：公務員群は中学生より自己感情が豊富で安定な Non-Consensual responses 反応が多く見られる。

表2 各群の LOCUS SCORE

5 事例	小学生群	中学2年生群	中学3年生群	大学生群	公務員群	老年群
1	5	8	9	9	6	1
2	4	10	8	3	3	2
3	1	10	10	2	4	3
4	0	5	13	7	3	5
5	1		9	3	4	1
合計	11	33	49	24	29	76
調査人数	5	4	5	5	5	26
平均値	2.2	8.25	9.8	4.8	5.8	2.92
標準偏差	1.94	2.05	1.72	2.71	1.1	2.51

※老年群は上から5つを抜粋表示しています

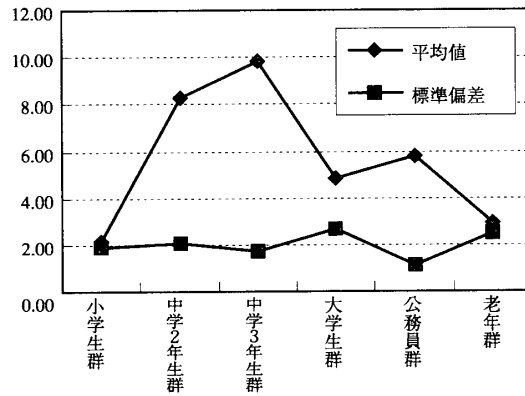


図10 各群の LOCUS SCORE

表3 各群の CONSENSUAL, CONSENSUAL SCORE

5 事例	小学生群	中学2年生群	中学3年生群	大学生群	公務員群	老年群
1	9	9	14	14	10	9
2	4	14	14	8	7	3
3	9	11	11	5	9	9
4	3	8	17	10	4	9
5	2		12	6	7	0
合計	27	42	68	43	37	173
調査人数	5	4	5	5	5	26
平均値	5.4	10.5	13.6	8.6	7.4	6.65
標準偏差	3.36	2.65	2.3	3.58	2.3	3.27

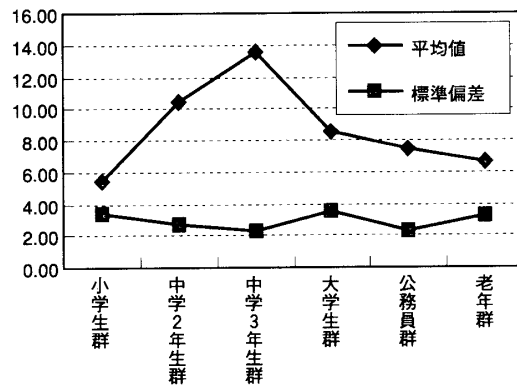


図11 各群の CONSENSUAL 反応



表4 各群のNON-CONSENSUAL SCORE

5事例	小学生群	中学2年生群	中学3年生群	大学生群	公務員群	老年群
1	11	11	6	6	10	9
2	16	6	6	12	13	3
3	11	9	9	15	11	9
4	17	12	5	10	16	9
5	18		8	14	12	0
合計	73	38	34	57	62	173
調査人数	5	4	5	5	5	26
平均値	3.2	0.75	0.4	0.8	2.4	6.65
標準偏差	2.95	1.5	0.55	1.3	2.3	3.27
	小学生群	中学2年生群	中学3年生群	大学生群	公務員群	老年群
平均値	3.2	0.75	0.4	0.8	2.4	6.65
標準偏差	2.95	1.5	0.55	1.3	2.3	3.27

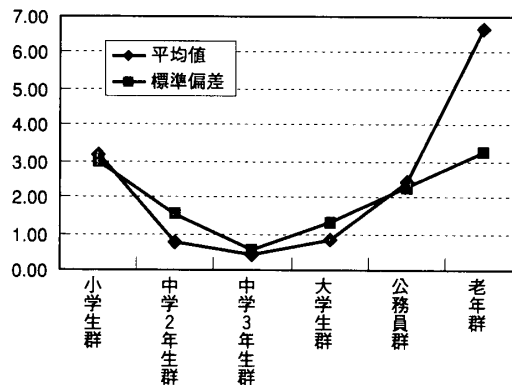


図12 各群のNON-CONSENSUAL 反応

\* 高校受験直前の事例と大学生を比較すると。

中3年生群の反応事例 a) 人間, 受験生, 学生。 b) 人間, 受験生, 日本人  
 c) 人間, 受験生, 中学生 d) 受験生, 生徒, 受験番号  
 e) 人間, 中学生, 受験生

大学生群の反応事例 a) 歌の好きな人間, 経済を学んでいる。在学している。  
 b) 女じゃない, 私はバカ, 誰だろう c) 心がめいっでいる, 歴史が好き, ○○  
 県出身, d) 勉強している, 学生, 土木科, e) 明朗である, やさしい男, 男である,

中学3年受験群の選択は, 所謂 Consensual responses 支配的であり, 大学生群は

Non-Consensual responses が支配的である。特に前者には、人間という自我意識昂揚、高校受験日を間近かに控えている緊張した中学生とした心構えが、前面に明確におし出されているようである。後者は、強度の自我意識の昂揚状態も見受けられず、比較的リラックスした、主観的感情記述が支配しているようである。

他人の目の反応は、友人、親、に限られている。そして共通していえることは、友人志向傾向の目を第一に意識している。次に両親依存度が強く、先生目を意識しているケースは1名もなかったようである。「1975年以来現在もみとめられる。」一連の研究調査の中で、(1)中学3年生が試験直前において、最も自分にあっているとする反応内容が、Consensual responses が圧倒的であったことに注目したい。(2) T. S. T 反応と「試験」10答法との関係づけで、各個人の試験に対する態度差が明確化できた。(3)「他人の目」に対する意識反応は、友人志向が認められ、また母親との関係づけも或程度可能であった。(4)受験期には、ますます母親との関係が密着し受験生より、むしろ母親が不安定状態に陥っている。

T. S. T. 反応の限り、受験期の母親の過保護、不安定状態を改善する必要性が認められ、一方思春期を展開できず、児童期が続く依存性をどうしたらよいのであろうか、

「先生・両親・友人・等の心の ふれ合いの消長」とを分析する。

(イ) 1965年代と1998年代の中学生の家族人反応を分析する。

1965年は中学生9名選択し、1998年は中学生71名選択した。

表5・図13から前者は9名中8名(97.5%)の家族人を記載し、後者は71名2名(2.44%)の家族人を記載がみられ、中学生の家族人との「ふれあい希薄度」が顕著で、このテストで現下の家庭内の心のふれあいの希薄変動さが顕著明確である。

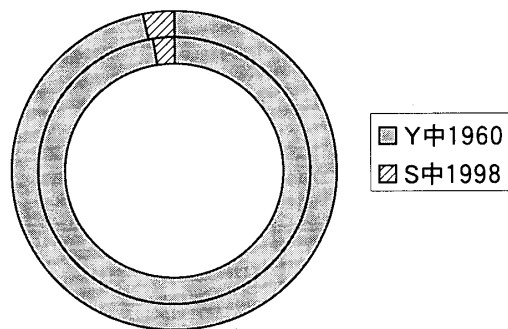


図13 T S T 家族人反応比率 (1960:1998)

表5 T S Tにみられる家族人（父・母・兄弟）の比較  
（1960年と1998年の中学生）

		人数	反応人数	反応個数
1998	南中・1男	n 10	1	1
1998	南中・1女	n 4	0	0
1998	南中・2男	n 20	0	0
1998	南中・2女	n 15	1	3
1998	南中・3男	n 14	0	0
1998	南中・3女	n 8	0	0
1960	付属中女	n 9	8	15
	Y中1960	9	8	15
	S中1998	71	2	4
	Y中1960		0.8	1.6
	S中1998		0.02	0.05
			0.82	1.65
	Y中1960		97.56%	96.90%
	S中1998		2.44%	3%

(ロ) 1965年代と1998年代の中学生の友人反応を分析する。

友人関係を好意的プラス反応とマイナス反応に分けて分析した。

表6・図14に示すように、1965年は7名中7名反応（100%反応）

表6 T S T友人反応「1965と1998比較」

	人数	反応人数	反応個数	反応内容
1998 南中・1男	n 10	0	0	
1998 南中・1女	n 4	1	1	楽しい プラス1
1998 南中・2男	n 20	1	1	楽しい プラス1
1998 南中・2女	n 15	7	13	友人願望5 プラス5 友人少ない1 マイナス1
1998 南中・3男	n 10	5	5	嫌われる2 マイナス2 ライバル2 マイナス2
1998 南中・3女	n 10	6	6	差別1 マイナス1 嫌われる2 マイナス2
1960 付属中女	n 7	7	7	少ない1 マイナス1 楽しい・6 プラス6
Y中1960	n 7	7	7	楽しい・6
S中1998	n 69	20	33	マイナス8
Y中1960		100%Y中	1960 14%	〇〇付中 マイナス14%
S中1998		29%S中	1998 63%	中3年・63% マイナスが目立つ。

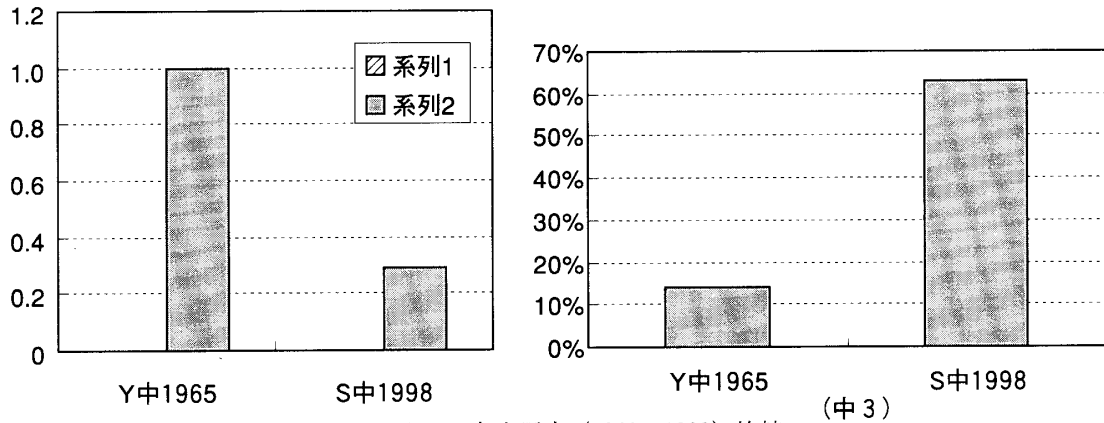


図14 TST 友人反応 (1960:1998) 比較 (中3)

1998年は69名中20名しか反応せず、(28%)

またプラス反応率は前者は86%で、後者は36%で、マイナス反応率は前者は14%後者は63%である。

現下の中学校環境下では「マイナス反応」のいじめ・不登校の病理がこのテストからでも十分に指摘可能である。

校内暴力 (1976年頃) 先生が影が薄く権威信頼喪失した。

第14回日本犯罪心理学会 (1976) で 題目「暴力」のシンポジウムの計画司会を担当した。20年来「私は誰でしょう?」という連想 短文を中学生に各自20個宛書かせていたが、20年経過して見て「私の先生についてと書いたのが、400名(400\*20=8000個中1語1文もなく、先生の影の薄さに驚いた」。このとき5年後先生が殴られるかもしれないと推測したが、2年後に校内暴力の旋風は福岡県にも飛び火し、県内各地をカウンセラーとして巡回した。\*事前に校内暴力を防止するには、校長先生中心に職員心がまとまるのが先決で、加えて他県では職員関係の仲間割れを生徒に乗せられている事例も見受けられる程であった。また暴力事件発生の1年前頃から先生の目前で、奇声・ケンカ等の問題行動が起つて居る。これは単なる生徒個人のマナー躰の悪さだけでなく、先生が軽視・軽侮されていることを見逃していたのである。学校一丸となつて先手に罰すると言うイメージでなく、行動を「禁止」するイメージで厳格に対処すべきである。

\*この「きずき」の指摘で事前に校内暴力を防止に導いた事は成功であった。

カウンセラーは地味で、忍耐強く、焦らず、子供の「内心の成長を信じ」ぼつぼつの姿勢が基本であるが、一方軽症のケースには、早期に「考え 方転換」をすることで自信を持たせると、案外に短期間に好転するようである。しかしながら教育熱に燃えている先生が「生徒に暴力を受けるショック」はあまりにも大きく、意気消沈度は先生の人生まで変えてしまう場合が多かつた。この後遺症に悩む先生方がカウンセリングを

受けながら生き甲斐を再度見出し笑顔を回復された面影を見受けたとき、カウンセラーになつた生き甲斐の実感が湧いた。

また非行少年の劣等感・自己卑下態度が目立っていた。いまは遊び型非行で罪悪感が薄く危惧される

当時の解答例の一部

- | A（一般中学生）   | B（非行少年関係）  |
|------------|------------|
| 1 私は人間です   | 1 私は馬鹿だ    |
| 2 私は 男です   | 2 私は つまらない |
| 3 私は 背がひくい | 3 私は なまけだ  |
| 4 私は 地球人   | 4 私は 帰りたい  |

### 「3」アルコール依存症（1965-1998まで33年間追跡事例）

昭和40年次友人より相談を受ける。クライアントは社会人・農業従事者 35歳 男子（当時の年齢）\*アルコール多飲の傾向顕著（アルコール依存症）

症状と経歴

専業農家の次男。小中学時代の学業成績は上位。戦中海軍通信学校に入学・終戦で復員。恩師の計らいで教育委員会の移動映画技師に就職。上司と折り合い悪く左遷。間もなく退職薬店を開業するが失敗。郷里にて農業に従事するが適応出来ず農作業に苦痛を感じる。結婚一児誕生後も両親弟妹と同居。一家の後継者として。本格的農業を迫られる。都会生活の兄への不満。捨て切れぬ夢と大家族を抱えて、働いても働いても自分のものにはならないいらだちに加えて妻からも離婚か家族との別居かと迫られ。農業後継者としてかつ核家族の長としての権利を主張。父の信頼を失う。

農地五反と家土地を貰って分家。離婚の危機から逃れたが小農家となった。父の処遇への不満も重なり。次第に酒量が増え。時処位を選ばぬ飲酒に耽溺。昭和50年（45歳）から53年（48歳）ごろは一日の酒量も次第に増加する。飲酒運転による自動車事故。免停。無免許運転が重なる。が改まらず。家中の酒をすてても。外で飲酒には事欠かず家族は困り果て、思い余っての内科入院治療も入退院の繰り返しで効果なし。酒に酔い痴れて。自己喪失。廃人一步手前の姿に、悲しんだ妻子が。56年7月10日、断腸の想いで精神病院に送り込む。この入院で奇跡？が起こった。専門的には。「回心的回復」と呼ばれているそれを成し遂げたのである。その原因を分析すると1) 入れられた檻病室の担当介護士が。なんと彼の高校時

代の同級生であった。「T君じゃないか」と声をかけられて。ハッと目が覚めた。(こんなところで俺は何してるんだ)。2) 同室の分裂症患者が高校時代の恩師で、その見る影もない姿にショックを受けた。(ここはおれのいるところじゃない) 3) 兄の親友の弟も分裂症で同室にいた。(おれは病気じゃない。あんたたちとは違うぞ。) 強度のシャープ・ショックを受け、ここはおれのいるところではない。おれはお前たちとはちがうぞ。という自尊の意識がめざめた。洗礼をうけたような生まれ変わったこの状態は「回心の惹起」と言える。これを機に彼は立ち直る。禁酒を断行。挫折を案じた伯父の禁酒連盟会長の連盟参加のすすめも断り自分だけの意志力で15年間を飲酒ゼロで貫いた。2町歩のモデル農家として1998年再会・今も健在である。

#### 「4」社会文化的事例

30年間の価値観の比較1965-1995 (30年経過)

##### (イ) 涙と塩と天子さま

ロスアンゼルス・リトル東京の碁会所にいた老人が、入ってきた私達をめぐりと見つけると、なつかしげに声をかけてきた。「あんたたち、日本の旅行者か」そうだと答えると、日本の匂いがかがせてくれという。会所の一隅に陣取って、ひとしきり故国の近況を聞いていたが、「帰りたいなあ」とぼつりと一言。

台湾に住んでいたため、戦争で家も土地も失った。加えて一人息子は戦死。身寄りのなくなった彼は、親しい友に誘われるままロスに骨を埋めよう。ロスを第二の故里として生きようと決めてここに来たと語った。元気なうちはよかった。だんだん年をとってくると、日本に帰りたい。日本の土をもう一度踏んで死にたいと、むしように想う、帰る家もないのに、と呟く孤老。やりきれなさに切なくなる。リトル東京の華やかなかげに、祖国恋しさに悶えている老人がいる。ショックだった。

そして「天子さまは、お元気かな。」「天子さま」？ 日本では、すでに死語に等しい言葉である。それをこのロスで聞こうとは夢にも思っていないことだった。「えっ」と聞き返した私に、彼は「天子さま」ともう一度はつきりと言った。衝撃が胸を貫いた。今の日本では、もはや聞くことも無い言葉、それがこのロスのリトル東京で生きている。

天子さまと言う言葉まだ生きて 移民一世祖国抱きしむリトル東京  
台湾消え子も戦死してロスにきしと孤老たんたんと碁会所の夜  
「天子様」も「祖国」も生きてここにあり 平成遠き一世を知る

第2回UCLA（カリフォルニア大学 コロンブス大学・ロス）における日米合同カウンセリング交換セミナーに参加し機会を得て一日リトル東京を訪れた1991年8月のことである。

\*17歳時（1927）東京から台湾に移住し、戦後 日本に帰らずロスアンゼルスに渡米した星某老人とのロスアンゼルス・リトル東京での出逢いから 死語と思われる「天子様」が聞かれた「明治・大正時代使用の天子様」がロスアンゼルス・リトル東京に平成の世に聞かれたのである。東京から台湾・ロスアンゼルスに「天子様」の語が星野古老には変化せず残存しているのである。「意識認知面は日本の明治・大正時代の文化」が残存しているのである。

#### （ロ） 日本海海戦100年経過・現在の東郷公園

明治38年5月28日、日本海海戦を現在の東郷公園から激戦を鳥瞰した時から100年経過したが、（1998. 1）現地での観察記で歴史的価値への変遷を観る。（東郷神社設立は日本海海戦の激戦を鳥瞰し、その榮譽を後世に残すべく設立者達が努力した。）

蒼い涙（日本海海戦を知らぬ世代）

日本海海戦記念碑を見たいという妻を伴って、初冬の日津屋崎海岸・東郷公園を訪れた。なだらかな坂を歩むと石段がある。「記念碑はこの上だよ」と少し急な石段を登って行くと、記念碑の頭がのぞく。急いで登って行って思わず言葉を呑む。（記念碑が泣いている。）日本海海戦記念碑が蒼い涙を流しているのだ。文字の銅板の銅が酸化して流れたのだと理屈では判っているのに、記念碑の蒼い涙は、見上げる者の胸をつく。風化していく歴史への元帥東郷の涙か、はたまた祖国を守るため海戦に散っていった名もなき勇士達の声なき涙なのだろうか。散々伍々人はあれども海戦を語る者なし。先生らしい人に連れられた四、五人の子供達は、砲身に股がり騒ぎ「何も遊ぶものなかったな」と言う先生の言葉と共に、砲身にガムをなすりつけなすりつけ去って行った。

昭和元禄という言葉が風のように脳裏をかすめて消える。

ぶぜんとして海を見る。玄海灘が遠くかすむ。

石に刻まれた配船図をみながら、「あのあたりにZ旗揚がったのかな」と妻がつぶやく。「砲撃戦のみずしぶき。黒煙ここから見えたという話だよ。」このままじゃいけない、そんな思いが湧いてくる。国を守るため我々子孫のため命をかけて戦った勇士達の愛が今の繁栄につながっていること。語り継ぐ語りべの役、今我々に回ってきている。

東郷神社は道をへだてて下手にある。ちゃぼの遊ぶ庭が一段と、のびやかさを加え

る。その右手に東郷資料館がある。ついでにのぞく。なんとなく荒れた館内は、しんねりとして、かびとほこりの匂いが強い。心なしか扉のたてつけもよくなさそうである。経営が大変だろうなと思う。この次は子や孫を連れてこよう。酒酌み交わしつつでも元帥や海戦を語ろう。最大の国難を、拳国一致で戦った明治の勇士たちを。あの尊い血であがなわれた今日の我々であることを。

昭和遍歴は変わらず 高台の日本海海戦記念碑の蒼き涙よ  
記念碑の 蒼き涙よ何に泣く 海は変わらず 波高き日に  
弩角聞こゆ 砲声聞こゆ Z旗のはためき聞こゆ 遠き海より  
砲身さすりガムなすりつけ子等は去る 父祖の戦を語らぬは哀し  
子よ眸をあげてこの海を見よ 我が祖父や父が  
熱き血をたぎらせて バルチック艦隊と戦った  
この海を見よ。 はるか あの海上に白煙が立ち  
水しぶきがあがり 壮絶な海のドラマが  
歴史を染めた。 祖国守るべし  
同胞守るべし  
皇国の興廃 この一戦にあり 砲弾の中 はためくZ旗に  
日本の男達は 燃えた。守った。  
そして散った。 子よ歴史を染めた  
この海を見よ。

東郷公園の桜は、降るように散る。ひらひらひらひら風もないのに散りしぶく。花吹雪の中を敬礼した兵たちの幻が浮かんでは消え、消えては浮かび玄海の波に沈んでいく。桜の見せてくれる一瞬の幻に惹かれて公園にたたずむ。歴史がドラマとなり、ドラマが歴史を重ねながら、それでも風化されて行く日本海海戦。高台に立つ記念碑は、今年も蒼い涙を流しているが、花見の格好の場所として近在を問わず人々は散々伍々集まって花を楽しむ。

カラオケにドラ声を張り上げる群衆をこの記念碑はどんな思いで見つめているのだろう。

久しぶりにおとずれた資料館も別人のように清掃されきれいになりほこりもない。三船敏郎の元帥が大きな映像で幅を利かす。「東郷元帥ってこんな人なの、なあんだこの人なら知ってるよ、おばあちゃん。」すつとんきょうな声を出す あやこ に驚いて周りを見廻すと、アベックの若者がクスクス笑う。三船元帥は、親近感を抱かせるのだろう。若い観覧者が多い。「ああこの映画見たな」「加山だよ」「ほらほらあの人もいる」などと言いながら人々はしばし立ち止まり、やがて足早に館内を一巡りし去って



行く。歴史が作ったドラマをドラマの歴史と受け止める若者。それでもいいのかも知れない。しばしの間でも日本海海戦が蘇ることを願えば

#### （ハ） 過失致死障害者の罪悪感の変動事例（31年経過）

1967年交通事犯者改善カリキュラム案作成研究時体験した当時の調査対象者事犯者の価値観・と1997年現在の事犯者の価値観の比較「1997年・午前同人誌60号筆者の題目「それでもすてられない。」を引用し考察する。

1967年の00交通事犯者は100キロ速度・無免許・夜間に42歳「一家の柱である主人」を轢死した。三〇年経過して〇〇交通事犯者と再会

「もし、人違いでしたら申し訳ございませんが」と声をかけられた。

「42年頃、東京の法務省においでになった島先生ではございませんか・。」

シーホークスに向かうタクシーの中だった。一瞬ぎくつとした。がミラーに写っている眸の澄んだ輝きにホッとして「短期間ですが、研究員としていましたが、あなたは？。」「やはりそうでしたか。お姿は少しお変わりになりましたが、暖かい柔らかな、お眸が昔のままで、つい声をかけてしまいました。」

「忘れもしません。30年前、K鑑別所でお目にかかりました前野でございます。」「お忘れですか。あの頃は17歳でございました。」彼は、胸のボタンを片手ではずし、太い数珠をのぞかした。突然、島の脳裏に、太い数珠を首からかけて、涙でぐしゃぐしゃになって、念仏合掌している少年の姿が浮かんだ。

「あなたはあの時の」「あれから少年院を出まして、母の兄が博多でタクシー会社を営っていましたので下働きから叩き直しまして、今日に至りました。母は、なくなりましたが、今では、子供にも恵まれました。」三十年前、時速百七十キロで暴走。横断中の会社員をひき殺してしまっ、異常な暴走振りに、少年鑑別所送りになった17歳の少年でした。島がそこを訪れたとき、ふと目にとまった異様な少年が、彼だった。悔悟の涙で、くしゃくしゃになった顔は、水腫れし、母の差し入れだと言う太い数珠を首に、昼は、勿論就寝時間も姿勢を崩さず、食事ものどを通さぬ程ひたすら読経を続けているという少年の姿に、「もういいよ。故人も君の悔いの涙に、浮かばれるだろう。後は、同じ悔いを二度と重ねないことだよ。」島の言葉に少年は目を開けたが、ぼうだたる涙が流れ落ちた。島はうろおぼえの般若心経を、少年と共に合掌、唱えたのを、覚えている。「涙って、あんなに出るもんですかねえ。」担当の教官が、ほとほと呆れた程、読経の間も涙が絶える事がないという。「目も鼻も流れやせんかと気になりますよ。」教官の言葉が耳に残っている。（あの少年はどうなったのだろう。）交通違反にタッチする度に、思い出すが、島は敢えて、追跡調査はしなかった。「奇遇だな

あ。ほんとに、神様のお引き合わせだ。よかった、よかった。会えてよかった。」島は、神に感謝した。いまだに、被害者の遺族に、お金を送り続けているという、元少年。「妻もそれを承知で来てくれましたし、何も愚痴申しません。あんたの、気の済むようにと、言ってくれてますので、今はもう感謝の涙です。先生あのときは、いっしょにお念仏していただき、有難うございました。」うっすらと涙が滲んでいるが、澄み切った男の眸は輝いていた。

「今日はいい眸に出会いました。ありがとう。またゆっくりとおあいしましょう。」と、島は名刺を出したが、彼は受け取らなかった。「お礼が言えただけで、嬉しゅうございます。先生のお名前も、お顔も時々テレビや、新聞で、拝見しています。それだけでありがたいです。」シーホークスの、四階のロビー前で、島をおろし、彼は、深く頭を下げ消えて行った。

爽やかな風が、一度に吹き抜けたような感動だった。叫び出したい思いをおさえて島は会場に向かった。その日の会は、昔の仲間、法務省の友人達とのコンパだった。彼は今先の感動を仲間に伝えた。皆しゅんとして聞いていた。一人が、ため息をつくように言った。

「あの頃の少年はよかった。暴れもんだったけど、悪いと知れば、身にしみて受てくれた。」

「今は、どうですか?。」島は聞いた。「大学の先生よ。今の少年はな、人を殺して入ってきて、一時間もせんうちに、漫画ば見せと言うて来る。お前、人一人ひき殺したんだろかと言うと、けろっとして、お父さんが保険を、目いっぱいかけていたから何とかなるって。この責任は、どこが、だれがとるんですか。」うまかった酒が、苦くなった。

#### 参考文献

- 1) Holt, R.R.; Imagery: the return of the ostracized. *Amer. Psychologist* 1964 19, 254-264
- 2) Singer, J.L.; A factor analytic study of daydreaming and conceptually related cognitive and personality variables. *Perceptual and Motor Skills*, 1963, 17, 187-209
- 3) Freud, S.; The interpretation of dreams. *Basic Writings of S.Freud*. Modern Library 1938 p.457
- 4) 近藤敏行, 青年期の空想について, 第11回中国四国心理学会発表文集, 1953.
- 5) 長尾勲: 1997. 7. 4. 「神戸小6年学童殺人事件」義務教育上どうとらえるか? 福岡教育大・保健管理センター・シンポジウム。
- 6) Kuhn, Manford & Mcpartland, V.S. An Empirical Investigation of selfattitudes. *Amer Soc. Review*, 19 (1954) 1, 68-76.
- 7) Murphy, G.: *Personality: A Bio-Social Approach to personality*, Harper, 1957.

- 8) Rainy, V.C.: Self-reference in Counseling Interview, J. Consult. Psychol., 12 (1948), 153-163  
 9) 星野命：自己態度 (self-attitudes) の比較研究, 日本心理学会第22回大会論集, (1958) 324-325.  
 10) 高垣忠一郎：T. S. T にあらわれた反応の心理的負荷について, 京都大学教育学部紀要第20号 (1975, 3)。  
 11) 長尾勲：犯罪者にみられる自己態度 (T. S. T について) 日本矯正医学会第11巻特別号 (1962)。  
 12) 長尾勲：T. S. T に見られる自己態度 (I) 九州産業大学教養部紀要第12巻第2号 (1976)  
 13) 長尾勲：自己態度 (T. S. T を中心にして) 中高校生と犯罪非行者の比較, 九州大学教育学部非行問題研究会講演資料 1976。  
 14) 長尾勲：T. S. T にみられる様相…III, 中国・四国心理学会論文集第12巻 1979。  
 15) 長尾勲：心理学 4つの岐 ナカニシヤ出版 1997, 11  
 16) 長尾勲編 学生相談報告書第4巻九州産業大学学生相談室 1999, 3.

付表〔I〕

DAY DREAM 1995. 5. 1. 学籍 年齢 氏名 交通事故歴 あり なし 男女

「1」これはあなたの空想に関する質問紙です。質問がどうあつてもそのことであなたに迷惑をおかけすることはありません。安心して答えて下さい。

各項のあてはまるところに○印をつけてください。

答え方 (あるは3, ごくまれに2, ないは1, 強度にあるは項目番号に◎)

- |                         |        |
|-------------------------|--------|
| 1. 空想することがあります。         | 3-2-1. |
| 2. ありありとイメージがうかぶ。       | 3-2-1. |
| 3. 色・形・姿がうかぶ。           | 3-2-1. |
| 4. 色・形・姿がぼんやり浮かぶ。       | 3-2-1. |
| 5. 音声がはつきり聞こえる。         | 3-2-1. |
| 6. 音声が聞こえるような気がする。      | 3-2-1. |
| 7. においがする。              | 3-2-1. |
| 8. さわつた感じがする。           | 3-2-1. |
| 9. 読書や仕事・勉強しているとき空想する。  | 3-2-1. |
| 10. 歩くとき空想する。           | 3-2-1. |
| 11. 乗り物にのついているとき空想する。   | 3-2-1. |
| 12. バイク・車を運転しているとき空想する。 | 3-2-1. |
| 13. 友達と話をしているとき空想する。    | 3-2-1. |
| 14. 寝につくまえに空想する。        | 3-2-1. |
| 15. 空想はばかげた, つまらないと思う。  | 3-2-1. |
| 16. 空想は大変楽しかった。         | 3-2-1. |
| 17. 空想で自分は気がくるうのではとおもう。 | 3-2-1. |
| 18. 空想を他人に知られないかと心配になる。 | 3-2-1. |
| 19. 空想するときに心臓がどきどきする。   | 3-2-1. |
| 20. 空想は実にいやだ。           | 3-2-1. |

「2」次に色々の空想の例があります。これはおもに多くの青年の例です。

非常にありありと目の前に浮かんだのを3, 浮かんだことあり2, 浮かんだことない1, に○印せよ。

- |                                   |        |
|-----------------------------------|--------|
| * 1. だれかの体をたたく。(手や棒などで)           | 3-2-1. |
| 2. ピistol・ライフル等で鳥, けだものをうつ。       | 3-2-1. |
| 3. 刃物・ライフル・ピistolで人をけがさせたり殺したりする。 | 3-2-1. |
| 4. 誰かを口でさんざんやつけて黙らせる。             | 3-2-1. |
| 5. 誰かを投げとばす (突き飛ばす・断崖から突き落とす)。    | 3-2-1. |

- |  |        |
|--|--------|
| 6. 誰かを水中で頭押さえて息をくるしくさせる。                         | 3-2-1. |
| 7. 虫や小さな生き物を叩いたり苦しめたり殺したりする。                     | 3-2-1. |
| 8. きれいな花瓶（置物、額）等を投げて、壊したり、汚したりする。                | 3-2-1. |
| 9. 誰かが大事にしている物（衣類、道具など）をこっそり、汚したり、壊したりする。        | 3-2-1. |
| 10. 家に火をつける。                                     | 3-2-1. |
| 11. きれいな壁などに落書きする。                               | 3-2-1. |
| 12. 汚いもの（または毒物）をいれた飲物を人に飲ます。                     | 3-2-1. |
| 13. 先生（親）等をごまかしてやつつけて、心の中で愉快になる。                 | 3-2-1. |
| 14. 自分が死んだ知らせで、親や兄弟がどうするか空想する。                   | 3-2-1. |
| * 15. 重い病気になる。                                   | 3-2-1. |
| 16. 自動車（汽車）にはねられる。                               | 3-2-1. |
| 17. 気違いになつて病院に入れられる。                             | 3-2-1. |
| 18. だれかに悪口をいわれる。                                 | 3-2-1. |
| 19. 何か大きな失敗をする。                                  | 3-2-1. |
| 20. 自分の親愛な人（兄弟・親・友人・恋人など）が自動車（バイク）などにはねられ大怪我をする。 | 3-2-1. |
| 21. 食べ物があつて、重い病気になる。                             | 3-2-1. |
| 22. 遺伝的な重い病気で苦しむ。                                | 3-2-1. |
| 23. 嫌な相手と結婚しなければならなくなる。                          | 3-2-1. |
| 24. 父（母）または、自分を愛してくれた人が死ぬ。                       | 3-2-1. |
| 25. 結婚に失敗して苦しむ。                                  | 3-2-1. |
| 26. 家が火事（地震）で壊れて、貧困に苦しむ。                         | 3-2-1. |
| 27. 自分の欠点（失敗、不正など）を他人に知られて、責められる。                | 3-2-1. |
| 28. 肉体的に結婚の資格ないと思つて悩む。                           | 3-2-1. |
| 29. 断崖から落とされて死ぬ。（けがをするなど）                        | 3-2-1. |
| 30. 自動車が衝突して大怪我（又は死ぬ）する。                         | 3-2-1. |
| * 31. 何か不正をして、それがばれて、人々から避難される。                  | 3-2-1. |
| 32. 試験にカンニングをして、先生（友達）から非難される。                   | 3-2-1. |
| 33. 親の意見にそむいて、親と喧嘩してしまい、なやむ。                     | 3-2-1. |
| 34. 罪を犯して、法廷でさばかれる。                              | 3-2-1. |
| * 35. 恋を打ち明けて相手から受け入れられる。                        | 3-2-1. |
| 36. 恋を打ち明けたが、相手が打ち明けてくれない。                       | 3-2-1. |
| 37. 恋を打ち明けられ、自分もすきであつたという。                       | 3-2-1. |
| 38. 見知らぬ異性と性的行為をしている。                            | 3-2-1. |
| 39. すばらしい異性を相手にして性的満足を得ている。                      | 3-2-1. |
| 40. 人に言えないような異常な性的行為をしている。                       | 3-2-1. |
| 41. 恋人と公園を散歩して、未来をはなしあう。                         | 3-2-1. |
| 42. 恋人を他人に奪われる。                                  | 3-2-1. |
| 43. 恋人を父母に認めて貰えずくるすむ。                            | 3-2-1. |
| 44. 二人の異性から、恋をうちあけられて決めかねて悩む。                    | 3-2-1. |
| 45. 同性の人に対して、恋愛の感情を抱く。                           | 3-2-1. |
| 46. 恋人に裏切られる。                                    | 3-2-1. |
| 47. ドライブ（登山、海水浴）で、恋人が目の前で不慮の死を遂げる。               | 3-2-1. |
| 48. 自分より有利な恋のライバルが現れて悩む。                         | 3-2-1. |
| 49. 自分が男（女）になつて、そのように振舞う。                        | 3-2-1. |
| 50. 竜宮のような異郷にいき、乙姫様のような女と結婚する。                   | 3-2-1. |
| 51. 高貴な男性（王子様）にみそめられて結婚する。                       | 3-2-1. |
| 52. 静かな部屋でソファーに腰を落として、異性の友と2人だけで恋を語る。            | 3-2-1. |
| * 53. 自分の意のままに動き命令に従う利口な小動物（またはロボット）がある。         | 3-2-1. |
| 54. 巨人が自分のいゆうとりに命令に従う。                           | 3-2-1. |
| 55. 魔法の杖（または類似者）があつて、思うことがかなえられる。                | 3-2-1. |
| 56. 学級委員、自治会委員長等になつて学級（自治会）活動の中心人物になる。           | 3-2-1. |
| 57. 政治家になつて国政を動かす。                               | 3-2-1. |
| 58. 自分が超人になつて、世の中を思うように動かし、不正を罰する。               | 3-2-1. |
| * 59. 音楽会（英会話・演劇など）で素晴らしい出来ばえで拍手される。             | 3-2-1. |

- |                                      |        |
|--------------------------------------|--------|
| 60. 難しい試練に合格して人から賞賛される。              | 3-2-1. |
| 61. 競技（スポーツ、その他）で、凄い腕前を発揮して人を驚かせる。   | 3-2-1. |
| 62. 人から尊敬されるような地位につく。                | 3-2-1. |
| 63. 何かの式場で主要な役目を果たす。                 | 3-2-1. |
| 64. 発明（創作など）で世間から注目される。              | 3-2-1. |
| 65. テレビタレント（俳優など）になつて、異性の憧れの的となる。    | 3-2-1. |
| 66. 学者となつて世間を驚かすような発見をする。            | 3-2-1. |
| 67. 故障してこまつている自動車を修理して感謝される。         | 3-2-1. |
| 68. 溺れる子ども（老人、婦人）などを助けて感謝される。        | 3-2-1. |
| 69. 高価な衣装（アクセサリーなど）を身につけて町に出て人目をひく。  | 3-2-1. |
| 70. 新しいスポーツカーやバイクにのつて友人をうらやましがる。     | 3-2-1. |
| 71. 結婚式で美しい花嫁（花婿）になつて皆が自分をみる。        | 3-2-1. |
| 72. 多くの人の前で演説をして拍手される。               | 3-2-1. |
| 73. 他人が出来ない離れ技を（妙技など）して人々を驚かす。       | 3-2-1. |
| 74. 有名になつて世界で名を知られた人々と会つて話をする。       | 3-2-1. |
| 75. 戦場で手柄をたてる。                       | 3-2-1. |
| *76. 自分に実際はない妹（弟）があつて、可愛がつている。       | 3-2-1. |
| 77. 同上——姉（兄）があつて、自分が可愛がられる。          | 3-2-1. |
| 78. 実際の親でないひとが自分の親であつたらよいと心にえがく。     | 3-2-1. |
| 79. 理想の夫（婦）と幸せな家庭生活をする。              | 3-2-1. |
| 80. 幼い自分の子どもを可愛がつて育てる平和な家庭生活。        | 3-2-1. |
| 81. 哀れな人を救つてやる。                      | 3-2-1. |
| 82. 貧しい人に金品を恵む。                      | 3-2-1. |
| 83. 人から迫害される。                        | 3-2-1. |
| 84. 貧乏で助けてくれるものが無いので苦しむ。             | 3-2-1. |
| 85. 親、兄弟が理解してくれないので苦しむ。              | 3-2-1. |
| 86. 世間のためにしていることを世間の人が理解しないで白眼視される。  | 3-2-1. |
| 87. 難破船で、人を助けるために自分がしぬ。              | 3-2-1. |
| 88. 死の床にっている人を無償で看護する。               | 3-2-1. |
| 89. 溺れる人（火中の人・交通事故の人等）を助けようとして自分が死ぬ。 | 3-2-1. |
| 90. 無実の罪で刑務所に入れられる。                  | 3-2-1. |
| 91. 身に覚えの無いこと事をいいふらされて友が皆自分から遠ざかる。   | 3-2-1. |
| 92. 高貴な出身をかくして庶民の為に働く。               | 3-2-1. |
| 93. 金持ちと結婚したが、楽しくない生活である。            | 3-2-1. |
| *94. 金持ちになつて、きれいな家に住む。               | 3-2-1. |
| 95. 自分の車（スポーツカーなど）をもつて乗り回す。          | 3-2-1. |
| 96. 金に不自由なく世界旅行をする。                  | 3-2-1. |
| 97. テレビタレント（俳優など）になり金に不自由しない。        | 3-2-1. |
| 98. 別荘を建てて、海岸（山・高原など）へ出かける。          | 3-2-1. |
| 99. 自家用モーターボート（ヨット）をもつて遊ぶ。           | 3-2-1. |
| 100. 自分専用の車（テレビ・ピアノ・ギター・）等を持つて楽しむ。   | 3-2-1. |
| 101. 高価な人形をかいもとめて楽しむ。                | 3-2-1. |
| 102. 一流レストランで西洋料理を食べる。               | 3-2-1. |
| 103. 王様になつて、行くところ、人がうやうやしくする。        | 3-2-1. |
| 104. 靴（服・着物・その他）がタンスのなかに沢山あつて不自由しない。 | 3-2-1. |
| 105. 原っぱで草の上にねそべつて、青い空をみている。         | 3-2-1. |
| 106. 観光旅行にでかけて楽しくすごしている。             | 3-2-1. |
| 107. 次の日曜日をどうして過ごすかと色々なアイデアが浮かぶ。     | 3-2-1. |
| 108. ハイウェイをスポーツカーでドライブしている。          | 3-2-1. |
| 109. 溪流で魚釣りを楽しむ。                     | 3-2-1. |
| 110. パチンコで玉がジャラジャラ出て来る。              | 3-2-1. |
| 111. ゆつたりした安楽椅子でコーヒーをのむ。             | 3-2-1. |
| 112. ハイキングに行つて美しい景色を見てたのしむ。          | 3-2-1. |
| 113. 船にのつて航海する。                      | 3-2-1. |
| 114* ご馳走が沢山あつてたびきれないような席の客となっている。    | 3-2-1. |

- |                                   |        |
|-----------------------------------|--------|
| 115. 誰か可愛いので頬べたにかみつく。             | 3-2-1. |
| 116. 自分が人間以外の強い動物になる (ライオン, トラなど) | 3-2-1. |
| 117. 自分が人間以外の弱い動物になる (小鳥)         | 3-2-1. |
| 118. 自分が神様になる。                    | 3-2-1. |
| 119. 自分の未来の姿が浮かんでくる。              | 3-2-1. |

付表〔II〕 付中 1965 T・S・T

- 1 私は○○である
- 2 私は父母の子供である
- 3 私は付中の生徒である
- 4 私は○○市に住んでいる人間の中の一人です
- 5 私は人間である
- 6 私は人間として生まれてきた一人である
- 7 私は父母の大切な子供である
- 8 私は反省する力を持っている人間の中の一人である
- 9 私は14歳の女子である
  
- 1 私は怠け者である
- 2 私は物事なんでも頑張りたい
- 3 私は早く大きくなりたい
- 4 私は学校が楽しい
- 5 私は課外どうしようか心配だ
- 6 私は女である
- 7 私はスポーツが好きである
- 8 私は怒られた
- 9 私は喧嘩した
- 10 私は笑われた
- 11 私は恥ずかしかった
- 12 私は怪我をした
- 13 私はお人好しだ
- 14 私は山へ行きたい
- 15 私はこの世の中良いところだと思う時と悪いと思うことがある
- 16 私は死ぬ
- 17 私は生きていうちになにかしなくちゃいけない
- 18 私は幸福だ
- 19 私は高校入学が恐ろしい
- 20 私は絵が欲しい

私はわがままである  
 私は自分勝手である  
 私はちょっとおかしいことでもすぐ笑う  
 私は何でも人にやってもらう癖がある  
 私は人が良いものを持っていたらすぐ欲しがる  
 私はすぐ怒る  
 私は人に謝るのが大嫌いである  
 私は細かいことをするのが大嫌いです  
 私は母と良く喧嘩をする  
 私は親に良く口ごたえをする  
 私は近所の人と長く話すのが嫌い  
 私は旅行するのが好きである  
 私は人をよく笑わせる  
 私は探偵物を読むのが好き

私は家の中でじっと大人しくしているのはいやだ  
私はちょっと悲しいことでもすぐに涙が出る  
私は短気である

- 1 私は人間である
- 2 私は女である
- 3 私は妹である
- 4 私は一人である
- 5 私は付中の二年生である
- 6 私は生徒である
- 7 私は恥ずかしがりやである
- 8 私は子供である
- 9 私は家族の一員である
- 10 私は日本人である
- 11 私は文学に憧れるものである
- 12 私は身勝手にわがままな人間である
- 13 私は理想主義的でロマンチストである
- 14 私はデリケートな人間である
- 15 私は読書が好きだが、主題をつかむことができない人間である
- 16 私は自分の生まれた土地を懐かしむ人間である
- 17 私は増長しやすい人間である
- 18 私は友達の意見を聞くことが好きな人間である
- 19 私は変なところで意志の強い人間である
- 20 私は軽率な人間である

- 1 私は地球上に住んでいる男性である
- 2 私は気の弱い人間である
- 3 私は与えられたことは責任もってそのことをするような人間だと思う
- 4 私は読書が嫌いで常識に疎いところがある
- 5 私は人間である
- 6 私はスポーツが好きな人間だ
- 7 私は劣等感を良く持っている人間だ
- 8 私は人が貧しい生活をしている場面を見ると、その人が可哀相で何とかしてやりたいと思うことがしばしばある男だ
- 9 私は〇〇市に住んでいて付属中学校に通っている二年生である
- 10 私は次男である
- 11 私は人前でいろいろなことをするのが大嫌いである
- 12 私は友人を持つ時は広い範囲で友人を作るような者である
- 13 私は喧嘩の大嫌いな者である
- 14 私は大食いである
- 15 私はおしゃべりの好きな人間である
- 16 私は平凡な人間である
- 17 私は勉強嫌いである
- 18 私は負けず嫌いである
- 19 私は趣味というものが狭い範囲である
- 20 僕みたいな人間はたくさんいると思う

- 1 私は女性です
- 2 私は付属中学の生徒です
- 3 私は背が低いです
- 4 私は友達を何人か持っています
- 5 私は母と姉と3人で暮らしています
- 6 私は動物が好きです
- 7 私はあまり勉強が好きではありません
- 8 私はよく亀山に行って読書をしたりします
- 9 私はあまり小さい子供が好きではありません

- 10 私はもう少しで15歳になります
- 11 私は掃除が好きではありません
- 12 私はピアノが弾けます
- 13 私はブラスバンドに入りたいと思ってます
- 14 私は旅行がしたいと思ってます
- 15 私はどんなに小さいことでも気になったりします
- 16 私は習いごとに行くのが好きではありません
- 17 私はもっと大きくなったら会社に勤めようと思ってます
- 18 私はまだまだ勉強しなくてはいけないと思う
- 19 私は姉と良く喧嘩します
- 20 私はもっと素直でなければならないと思う

- 1 私は成績が悪い
- 2 私は案外朗らかだと思う
- 3 私は案外意地が悪い
- 4 私は今ごろ姉妹の仲が良くなった
- 5 私はがめつい
- 6 私は一部の人には好かれるかもしれないが、あまり好かれてはいないような気がする
- 7 私は勉強が嫌い
- 8 私は短気ですぐにヒステリーを起こす
- 9 私はよく人のことに気を回すと思う
- 10 私は案外臆病だと思う
- 11 私は希望がないと思う
- 12 私はすぐひがむと思う
- 13 私は人情がないと思う
- 14 私は幸福だと思う
- 15 私は努力はしないと思う
- 16 私は根気がないと思う
- 17 私は何でも人に喋ってしまう悪い癖があると思う
- 18 私は何でも家の人にやってもらって甘えていると思う
- 19 私はうぬぼれが強い方だと思う
- 20 私はすぐに調子に乗ると思う

- 1 私は人間です
- 2 私は女性である
- 3 私はこの世の身近な人間の一人である
- 4 私は幸福な生活を送っているものである
- 5 私はある時は喜びある時は悲しみ嘆く人間の当たり前の平凡なものである
- 6 私は新聞記事を見て、可哀相だと思えば涙を流すようなものである
- 7 私は小説を呼んで忘れられないことがあれば夢を見たりするものである
- 8 私は自分のために生きている
- 9 私は自分のために勉強している
- 10 私は人をあまり軽蔑しない人間である
- 11 私は生活をより楽しむためにレクリエーションをやったりして遊ぶものである
- 12 私は将来のことの望みを達成するために頑張っているものである
- 13 私は生まれた限りその一生を楽しく暮らすために努力している
- 14 私はその努力するためには明るい環境というものがあるので、環境をよくしようとしているものである
- 15 私は家庭を楽しくしていくものである
- 16 私は家族を大切にしているものである
- 17 私は友達を大切にしているものである
- 18 私は集団生活の苦しさを乗り越えていくものである
- 19 私は社会のために役に立ちたいものである
- 20 私はこの問いに以上20のことをあげました

- 1 私は〇〇の商店通りに住んでいます



2	私は付中に行っている2年生です
3	私は父が商売をしています
4	私は5人兄弟の真ん中で次女です
5	私は家族は祖母、父母、子供で8人暮らしです
6	私は引込み思案な方です
7	私は読書・手芸が好きです
8	私は音楽が得意です
9	私はクラスでは大人しい方です
10	私は人前で話すのが嫌いです
11	私はあまり顔が良く分かりません
12	私は弟が体が不自由です
13	私は好き期待が多い方です
14	私は気が小さいです
15	私は責任感が強い方です
16	私は手を挙げて発表するようなことはありません
17	私は先頭に立ってやるということはありません
18	私は友達がありますが信用できないものもいます
19	私は運動神経が発達していません
20	私は体が弱い方です

付表〔III〕

1998T・S・T 中学2年生

		女性			
		真の私	人の見た私	理想の私	
1	私は、女です。	3		2	L
2	私は、若いです。				N
3	私は、キティ CHAN が好きです。	1	1		N
4	私は、肉じゃがが好きです。				N
5	私は、トマトが嫌いです。				N
6	私は、数字が好きです。				N
7	私は、花が好きです。			1	N
8	私の親友は、高本さんです。				N
9	私の好きな色は、白です。				N
10	私は、二重人格です。	2	3		N
		真の私	人の見た私	理想の私	
1	私は、人間です。				L
2	私は、女です。	1			L
3	私は、目が悪いです。		1	1	L
4	私は、寿司が好きです。				N
5	私は、くせ毛です。		2	2	L
6	私は、美術部です。				L
7	私は、塾に行っています。				N
8	私には、友達があります。	2			N
9	私は、勉強が嫌いです。			3	N
10	私は、ショッピングが好きです。				N
		真の私	人の見た私	理想の私	
1	私は、人です。				L
2	私は、女です。				L
3	私は、習字が好きです。				N
4	私は、バレーも好きです。			2	N
5	私は、友達付き合いが下手です。	2			L

長尾 勲

6	私は、あまり友達は多くありません。	3			L
7	私の性格は、おとなしいです。				L
8	私は、漫画が大好きです。		2	3	N
9	私は、甘いものも大好きです。				N
10	私は、ピーマンは嫌いです。				N
		真の私	人の見た私	理想の私	
1	私は、人間です。		1		L
2	私は、女です。	1	2		L
3	私の好きなものは、いちごです。				N
4	私の嫌いなものは、メロンです。				N
5	私は、絵を描くのが好きです。	3		1	N
6	私は、陸上部です。		3		L
7	私は、友達が好きです。				N
8	私の得意科目は、英語です。			3	N
9	私の苦手科目は、理科です。				N
10	私は、洋画をよく見る。	2		2	L
		真の私	人の見た私	理想の私	
1	私の好きなものは、アイスです。				N
2	私の好きなものは、お菓子です。				N
3	私の好きなものは、たこ焼です。				N
4	私の好きなものは、ハヤシライスです。				N
5	私の好きなことは、買い物です。				N
6	私の好きなものは、おもちゃです。				N
7	私の好きなものは、テレビです。				N
8	私の好きなものは、ビデオです。				N
9	私の好きなものは、本です。				N
10	私の好きなものは、友達です。				N
		真の私	人の見た私	理想の私	
1	私は、女の子です。	2	2	2	L
2	私は、人間です。	1	1	1	L
3	私は、動物が好きです。	3		3	N
4	私は、犬が好きです。				N
5	私は、水泳が好きです。				N
6	私は、体育が苦手です。				N
7	私は、おとなしいです。				L
8	私は、花が好きです。		3		N
9	私は、朝が苦手です。				N
10	私は、テストが苦手です。				N
		真の私	人の見た私	理想の私	
1	私は、人間です。	2	3		L
2	私は、女の子です。	3			L
3	私は、末っ子です。		1		L
4	私は、五人兄弟の三女です。				L
5	私は、父より、母より、姉が好き。	1		3	L
6	私は、十三歳です。				L
7	私は、二年一組の四十七番です。				L
8	私は、英語が好き。				N
9	私は、分数と少数が嫌い。				N
10	私は、いい人です。				L